

卒業生と語る会 報告レポート

R8.3.17 進路指導部

3月18日(水): 6・7校時 1・2年生対象

どの卒業生も、堂々と、自分の体験談をしっかり話してくれました。
卒業生の生の声というのは、教員が話すより、生徒にとって響くものがあると思われます。
この学校で学び、卒業できて良かったと思ってくれている卒業生が、多く来校してくれたことは、とても有難く、また、とても良い会となりました。

卒業生が話していた共通なこととは

- ①1年生のうちから勉強する習慣を身に付けること
- ②勉強できる空間を決めること。(自習室でも良いし、家でも良い、その他でも良い)」
- ③一緒に頑張れる仲間を大切にすること。(受験は個人戦、でも、受験勉強は団体戦)



男子 公立はこだて未来大学 システム情報学部

- ・推薦受験したきっかけは、面接と基本的な学科試験であることが、自分に合っていた。
- ・1年生の時から勉強習慣を身に着けた。
英語と数学の勉強→早い時期から取り組んだ方が良い。
- ・高2からは、自習室で毎日勉強した。自習室で18:30まで。そのあと自宅で2時間。
自習室は周りの人が頑張っているの、自分も頑張ることができた。

女子 旭川市立大学 経済学部 経営経済学科

- ・1,2年で進路が決まっていなかったが、「分野研究・学部学科研究」をすることで決める事ができた。
- ・学習は、2年生で平日2時間、休日5時間、3年生で平日4時間、休日10時間。
勉強する習慣を身に付けてほしい。空いているスキマ時間を有効に活用すること。
- ・推薦を少しでも考えているならば、評定平均を上げてほしい。
- ・最後に、勉強以外の、行事も部活動も楽しんでほしい。

男子 北海道教育大学旭川校 教員養成課程 数学教育専攻

- ・国公立大学の推薦合格率は低く、甘く見ないこと。
- ・入学してから困らないように、推薦合格後も勉強をすること。

男子 北海道教育大学旭川校 教員養成課程 教育発達専攻

- ・高校入学当初から進路は決めていた。早めに決めると、志望校について詳しく調べることができる。
- ・教育大の推薦は不合格者の方が多いから、**不合格前提で勉強していた**。不合格の結果が出てからも**すぐ切り替えて勉強を続けることができた**。
- ・**部活動で疲れていても勉強をすること、勉強する習慣を身に付けていると良い**。

女子 立命館大学 産業社会学部 人間福祉専攻

- ・立命館大学の指定校推薦は、高2のとき、担任から勧められた。**その当時は、ピンとこなかった**。
- ・**オープンキャンパスに出かけた。1年後、この大学に通っているイメージを感じ取ることができて、この大学に入りたいという強い気持ちが湧いてきた**。
- ・生徒会、部活動 いろいろな体験・経験することがとても大事。
- ・**同じ志の友人、仲間の存在が大切。「教えあうこと」「支えあうこと」を大切にしてほしい**。

女子 旭川市立大学 保健福祉学部 保健看護学科

- ・看護の道に進むのは、高1から決めていた。
- ・高校1年生のときから、「**〇〇大の看護**」を**第1志望**にしてきた。
- ・高3で〇〇大の**オープンキャンパスに参加したとき、「自分がここで勉強するイメージが持てなかった」**そこで、**旭川市立大学の看護学科に志望校を変更した**。
- ・**高2の3月から国立推薦指導に参加し**、担当の先生に志望理由書を半年以上に渡り添削してもらった。
- ・小論文については、色々なテーマで練習することで、本番も具体例を書くことができた。
- ・**いろいろな先生に頼ることも大切。先生方はきちんと対応してくれる**。

女子 旭川理容美容専門学校

- ・旭川理容美容専門学校に決めたのは、学生数が多くなく、手厚い指導を受けることができるため。
- ・志望校は決まっていなかったが、**2年の後期に「第1志望届」を書くこととなり、調べていくうちにこの学校に入りたいという思いが強くなった**。
- ・まだ、**進路が決まっていない人は、永嶺で受けられる多くの進路行事に積極的に参加すると良い**。
- ・AO入試で合格し、その後、特待生試験に挑戦した。特待生合格となり、主席となった。
- ・ダンス部の部長として、**部活動をやり遂げたことは、「自分の自信につながった」**

男子 国家一般職 法務局

- ・**自分の進路が決定したのは、2年生の時の「総合的な探究の時間」である**。
コースに分かれて、まちなかに行き、アンケートや取材を行った。
その中で、「人の役に立ちたい」という気持ちが多くなり、公務員を目指すようになった
- ・**公務員試験は幅広く出題されるので、高1のころから、英数国理社のすべての授業をきちんと受け、勉強することが大切である**。
- ・面接では、部活動や行事など、高校時代に頑張った経験が、将来公務員になったとき、どのように役立つを詳しく言えるように準備しておいた方が良い。
- ・模試は、自分のいまの位置がどの位置にあるのか、数値として分かるのでモチベーションを上げることにつながった。